

文化芸術政策の充実

本市では、北九州市基本構想・基本計画（「元気発進！北九州」プラン）の部門別計画である「文化振興計画（平成22年度～32年度）」に基づき、文化行政を推進しています。

この街では、古くから市民を中心とした、多様な文化芸術活動が行われるとともに、日常においても様々な文化芸術体験が盛んに行われてきました。それらの文化芸術を維持、継承、発展させることはもとより、市民自らその価値を十分に認識することが望まれます。

一方、昨今の経済情勢や少子高齢化、地域コミュニティの衰退とともに、文化を取り巻く環境も変化したことから、地域の文化芸術を支える基盤の脆弱化に対する危機感も広がっています。

今後は、次世代を担う子どもたちをはじめとして、アウトリーチなどすぐれた文化芸術に親しむ機会を充実し、シビックプライドを醸成するとともに、魅力あふれる文化芸術施策を展開し、まちのにぎわいづくりを進めます。さらに、「文化の薫る街」を創出するため、「文化芸術の街・北九州」を強力に発信していきます。

平成 26 年度文化芸術関連予算	3,620,219	（千円）
平成 27 年度文化芸術関連予算	3,766,580	（千円）
増額予算	146,361	（千円）

<重点的な取り組みを行う主な事業>

1 シビックプライドの醸成

市内各地で、文化芸術を鑑賞し、これに参加し、又はこれを創造することができる環境を整える。次世代を担う子どもたちをはじめとして、市民が多彩なすぐれた文化芸術に親しむ機会をさらに充実させ、シビックプライドを醸成する。

◆**新**文化振興計画（改訂版）策定事業 2, 200千円

平成22年12月に策定した北九州市文化振興計画は、策定から5年目を迎えた。文化行政を取り巻く環境も変化したことから、これを見直し、次代にふさわしい文化行政の指針となる、文化振興計画を策定する。

◆**新**芸術文化体験事業（アウトリーチ活動の充実） 10, 000千円

子どもたちや若者が文化芸術に接する機会を拡大するため、学校・地域等における教育普及活動やホール等の文化施設におけるワークショップ等（=アウトリーチ）を充実させる。



◆**美術館大規模修繕事業** 112, 800千円
(他に債務負担額 1, 488, 800千円)

北九州市立美術館は、昭和49年11月に開館し、以来、西日本地域における主要な美術館として、多彩な展覧会の開催や教育普及活動、ボランティアの育成等を通じて地域の文化振興の拠点の役割を担ってきた。



美術品の適正な管理及び展示機能の充実のため大規模な修繕を、平成27年度から平成29年度にかけて実施する。

*平成27年9月1日～平成29年11月2日（休館予定）

事務所は北九州テクノセンタービル（戸畑区中原新町2番1号）へ移転（平成28年1月予定）

◆**新**いのちのたび博物館大規模特別展開催事業 37, 500千円

平成27年度の累計総入館者数500万人達成を契機として、メディアに取り上げられる「話題性のある事業」を展開し、「北九州市新成長戦略」における「にぎわいづくりによる集客交流産業の拡充」を目指す。



2 「文学の街・北九州」の発信

本市は森鷗外、火野葦平、松本清張など著名な文学者・作家にゆかりのある、「文学の街」である。林芙美子文学賞、子どもノンフィクション文学賞、詩・俳句のコンクールなどの取り組みを引き続き進めるほか、女性俳句の草分けである杉田久女・橋本多佳子、児童文学のみずかみかずよなど本市ゆかりの文学

者・作家のPR・顕彰などで「文学の街」を更に発信し続ける。

◆**新**「文学の街・北九州」発信事業（別紙参照） 2,800千円

市内に点在する多くの文学的素材や、さまざまな文化資源・文化的取り組みを有機的につなげることで、にぎわいのある元気なまちづくりを推進するとともに、「文学の街・北九州」を発信する。

◆**新**「みずかみかずよ」顕彰事業 1,000千円

八幡東区に生まれ、作品が学校教科書にも掲載されるなど、本市を拠点に活躍した詩人・児童文学者の「みずかみかずよ」について、生誕80年を記念した顕彰事業を行う。

◆**新**文学館文庫本の出版 3,000千円

本市にゆかりのある文学者・作家について、その業績を風化させないため、入手困難となった作品を文学館文庫として制作・出版・販売する。

◆子どもノンフィクション文学賞

12,043千円

子どもたちが、人間や社会への関心を持つ契機となり、人間としての成長を促すことを目的に、全国の小中学生を対象として実施している子どもノンフィクション文学賞を、さらに全国発信する。



◆林芙美子文学賞

15,982千円

本市にゆかりが深く、「放浪記」、「浮雲」などの作品で知られ、短編の名手として評価の高い林芙美子の名を冠する文学賞を実施する。

多くの文学者・作家を輩出した本市の豊かな文化的土壌を、全国に発信するとともに、北九州市文化振興計画の重要な柱である「人材育成」に寄与することを目的とする。

3 「合唱の街・北九州」の推進

本市は、数多くの合唱団を有する合唱の盛んな土地柄である。多くの市民が合唱に親しみ、市民の歌声が街中に響きわたる「合唱の街」づくりを推進するとともに、合唱組曲「北九州」の普及にも努める。

◆**新**「合唱の街づくり」推進事業

2,000千円

子どもたちや若者を中心とした多くの市民が合唱に親しみ、市民の歌声が響く「合唱の街づくり」を進めるため、合唱を体験するワークショップ等を行うとともに、幅広い層に合唱が普及するための手法や事業のあり方を検討する。



<参考>

教育委員会所管分 (再掲)

◆**新**「北九州市中学校合唱フェスティバル(仮称)」開催事業 3,400千円

音楽を通して、子どもたちに豊かな情操を育むとともに、音楽や合唱に親しむ本市の文化的風土を醸成するため、「北九州市中学校合唱フェスティバル(仮称)」を開催する。

4 「映画の街・北九州」という新しい都市ブランドの発信

「東京ドラマアウォード 2014 “特別賞”」を受賞するなど高く評価されているフィルム・コミッション活動を推進していくとともに、市内映画館や松永文庫、文学関連施設との連携を深め、「映画の街・北九州」という新しい都市ブランドを発信する。

◆**新**映画・テレビドラマ撮影環境整備事業

11,800千円

新たな都市ブランド「映画の街・北九州」の浸透を図るため、「松永文庫」などの映画文化の振興に係る施設と連携したイベントの開催や、市民エキストラとの交流を図る。



5 文化財の保存・継承

文化財は、我が国の歴史と風土の中で培われてきた貴重な財産であり、文化の向上発展の基礎をなすものである。

郷土の歴史と文化に対する理解を深め、郷土愛をはぐくむために地域文化を保存・継承していく。

◆**新**重留遺跡出土広形銅矛再整理事業

2, 000千円

重留遺跡出土広形銅矛は、大型の青銅器を用いた弥生時代後期の祭祀の様子が初めて明らかになった例として、遺構は県指定史跡として現地保存され、銅矛は福岡県文化財に指定されている。



近年、近隣で弥生時代の遺跡が相次いで発見され、この地域一帯が弥生時代の一大集落として注目を浴び、本資料の評価も高まっている。国の重要文化財の指定をうけるために、資料の再整理を図るもの。

◆**新**「北九州市の文化財」改訂事業

4, 500千円

「北九州市の文化財」は北九州市の国、県、市の指定文化財及び登録文化財を網羅した市の文化財一覧の基本となる冊子である。未掲載25件を含めた冊子を新たに刊行し、広く市民に文化財の広報、活用を図る。

6 小倉駅新幹線口エリア等におけるにぎわいづくり

JR小倉駅新幹線口エリアにおいて、年間300万人を集客することで、都心全体のにぎわいを生み、街の活性化を図る。都心部における若者のにぎわいづくりを進めるため、あるあるCityなどと連携したポップカルチャー（漫画・アニメなど）・デザイン等特色ある文化を推進する。

また、市内各所にある文化施設を結び、回遊性を高めるとともに、にぎわいづくりに繋ぐ。

◆**新**漫画ミュージアム連携交流事業

7, 000千円

小倉駅新幹線口地区にて開催予定の大規模イベントや、ギラヴァンツ北九州と連携したイベント等を実施することにより、漫画ミュージアムへの集客と小倉駅周辺地区のにぎわいづくりを図る。



◆**新**北九州ミュージアムウィーク連携事業

2, 500千円

年間40万人以上の集客を誇るいのちのたび博物館をはじめ、市内には多数の文化施設が点在している。その中でも小倉駅周辺は、美術館分館、文学館、松本清張記念館、文学館、森鷗外旧居などがあり、これらの施設を連携させることで小倉駅周辺も含めた市内各所の回遊性を持たせ、さらには「ミュージアム」をキーワードにした福北連携にも取り組むことで地域の活性化を促す。

文化部の重点的な取り組みに関するお問合せ先

	重点的な取り組み（事業）名	担 当
<シビックプライドの醸成>		
1	⑨文化振興計画（改訂版）策定事業	文化企画課 （文化企画係）
2	⑨芸術文化体験事業（アウトリーチ活動の充実）	文化企画課 （美術・舞台芸術ライン）
3	美術館大規模修繕事業	美術館
4	⑨いのちのたび博物館大規模特別展開催事業	自然史・歴史博物館
<「文学の街・北九州」の発信>		
5	⑨「文学の街・北九州」発信事業	文化企画課 （文芸ライン）
6	⑨「みずかみかずよ」顕彰事業	文化企画課 （文芸ライン）
7	⑨文学館文庫本の出版	文学館
8	子どもノンフィクション文学賞	文学館
9	林芙美子文学賞	文学館
<「合唱の街・北九州」の推進>		
10	⑨「合唱の街づくり」推進事業	文化企画課 （美術・舞台芸術ライン）
<「映画の街・北九州」という新しい都市ブランドの発信>		
11	⑨映画・テレビドラマ撮影環境整備事業	文化企画課 （メディア芸術ライン）
<文化財の保存・継承>		
12	⑨重留遺跡出土広形銅矛再整理事業	文化企画課 （文化財係）
13	⑨「北九州市の文化財」改訂事業	文化企画課 （文化財係）
<小倉駅新幹線口エリア等におけるにぎわいづくり>		
14	⑨漫画ミュージアム連携交流事業	漫画ミュージアム
15	⑨北九州ミュージアムウィーク連携事業	文化企画課 （施設係）

文化企画課：582-2391 自然史・歴史博物館：681-1011

美術館：882-7777 文学館：571-1505 漫画ミュージアム：512-5077

「文学の街・北九州発信事業」について

【事業概要】

女性俳句の草分けである杉田久女・橋本多佳子などの PR・顕彰に取り組む。また、小倉都心部に点在する文学的素材や、さまざまな文化資源・文化的取り組みをつなげる仕組みづくりを検討する。

【スケジュール】

平成 27 年度 事業計画の策定 平成 28 年度～計画を実行

【事業のイメージ】

事業計画の策定段階から文化団体や小倉のまちづくり団体と連携・協働を検討。
空き店舗を活用した情報ステーションの設置や散策ツアー等の催しも検討。

《本事業のイメージ》



小倉都心部の文学関係施設



小倉都心部の文化施設



小倉都心部の文学碑



■「文学」と「まち」を織り交ぜた散策ツアーの提案



森鷗外ゆかりの菓子

松本清張も足を運んだ
寿司・ラーメン

■学芸員や文化関係者による「街なかゼミ」(案)

ほっとステーション
常盤橋サンリオビル
会議室